

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【公表番号】特表2013-510475(P2013-510475A)
 【公表日】平成25年3月21日 (2013.3.21)
 【年通号数】公開・登録公報2013-014
 【出願番号】特願2012-537288(P2012-537288)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 72/12 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 J 13/18 (2011.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 7/00 5 6 3

H 0 4 Q 7/00 5 5 1

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 J 13/00 2 1 0

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成25年10月22日 (2013.10.22)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 0 1
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 0 1】

本発明は通信分野に関し、特にサウンディング参照信号 (Sounding Reference Signal、SRSと略称する) のシグナリングコンフィグレーションシステム及び方法に関する。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 0 3
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 0 3】

LTEシステムにおいて、物理ダウンリンク制御チャネル (Physical Downlink Control Channel、PDCCHと略称する) はアップリンクとダウンリンクスケジューリング情報、及びアップリンクパワー制御情報をベアリングすることに用いられる。基地局 (e-Node-B、eNBと略称する) はダウンリンク制御情報によって、ユーザー端末 (User Equipment、UEと略称する) をコンフィグレーションでき、或はユーザー端末が高層 (higher layers) のコンフィグレーションを受け、高層シグナリングによるUEコンフィグレーションとも呼ばれる。ダウンリンク制御情報 (Downlink Control Information、DCIと略称する) のフォーマット (format) はDCI format 0、1、1A、1B、1C、1D、2、2A、3及び3A等を含む。そのうち、DCI format 0はPUSCHのスケジューリングを指示することに用いられ、DCI format 1、1A、1B、1C及び1Dは単一伝送ブロックの物理ダウンリンク共有チャネル (Physical Downlink Shared Channel、PDSCHと略称する) の異なる伝送モードに用いられ、DCI format 2と2AはダウンリンクPDSCH空間分割多重の異なる伝送モードに用いられ、DCI format 3と3AはPUCCHとPUSCHのパワー制御指令の伝送に用いられる。

【誤訳訂正 3】
 【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 0 6

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 6 】

- 送信電力制御命令 1, 送信電力制御命令 2, ..., 送信電力制御命令 N であり、そのうち、 $N = \left\lfloor \frac{L_{\text{format } 0}}{2} \right\rfloor$, $L_{\text{format } 0}$ = フォーマット 0 プラス巡回冗長検査 (Cyclical Redundancy Check、CRC と略称する) 前の bit 数 (付加された埋め草ビットを含む) であり、高層から出したパラメーター tpc-Index は UE に所定される送信電力制御命令 (TPC command) を決定した。

$\left\lfloor \frac{L_{\text{format } 0}}{2} \right\rfloor < \frac{L_{\text{format } 0}}{2}$ であれば、DCI format 3 は 1bit '0' を付加する。

LTE システムにおける PDCCH のブラインド検出の過程は簡単に以下のように描かれる。制御チャネル要素 (Control Channel Element、CCE と略称する) は PDCCH リソースを ベアリング する最小のユニットであり、制御エリアは一連の CCEs からなる。

PDCCH ブラインド検出範囲は探索空間に定義され、探索空間は共通探索空間と UE 専用探索空間に分けられている。探索空間 $S_k^{(L)}$ は

$$L \cdot \left\{ (Y_k + m) \bmod \left\lfloor N_{\text{CCE},k} / L \right\rfloor \right\} + i$$

に定義され、そのうち、 L は CCE アグリゲーションレベルであり、 $L \in \{1, 2, 4, 8\}$ で、共通探索空間に対して、 $Y_k = 0$ で、すなわち CCE = 0~15 から探索し、UE 専用探索空間に対して、 $Y_k = (A \cdot Y_{k-1}) \bmod D$ 、 $Y_{-1} = n_{\text{RNTI}} \neq 0$ 、 $A = 39827$ 、 $D = 65537$ 、 $k = \lfloor n_s / 2 \rfloor$ であり、 n_s はタイムスロット番号 0~19 を表す。 $i = 0, \dots, L-1$ 、 $m = 0, \dots, M^{(L)} - 1$ であり、 $M^{(L)}$ は探索空間において L が所定された後の PDCCH 検出候補集合 (candidates) の数量である。

そのうち、 n_{RNTI} は無線ネットワーク臨時識別子値 (Radio Network Temporary Identifier、RNTI と略称する) を表す。前記 n_{RNTI} は下記無線ネットワーク臨時識別子、即ち

システム情報 RNTI (System Information-RNTI、SI-RNTI と略称する)、

ランダムアクセス RNTI (Random Access-RNTI、RA-RNTI と略称する)、

呼出 RNTI (Paging-RNTI、P-RNTI と略称する)、

セル RNTI (Cell-RNTI、C-RNTI と略称する)、

半永続スケジューリング RNTI (Semi-Persistent Scheduling RNTI、SPS-RNTI と略称する)、及び

臨時セル RNTI (Temporary C-RNTI) 中の 1 つの値と対応する。

前記 n_{RNTI} は具体的にどの種類の RNTI が選択されて高層シグナリングによって コンフィギュレーション されると、具体的な数値も相応なシグナリングとデーターに指定される。RNTI の数値は以下の表 1 に示す通りである。アグリゲーションレベルに従って定義された探索空間は以下の表 2 に示す内容を参考し、UE がブラインド検出する時、ダウンリンクの伝送モードが対応する DCI format によって検出する。各ダウンリンク制御情報 DCI の 16 ビット CRC は前記 RNTI でスクランブリングする。異なる UE は異なる RNTI を コンフィギュレーション して CRC をスクランブリングすることができ、従って、異なる UE の DCI を区分できるようになる。

表 1 : RNTI 値

値(16 進法)		RNTI
周波数分割複信 (Frequency Division Duplexing、FDD)	時間分割複信 (Time Division Duplexing、 TDD)	
0000-0009	0000-003B	ランダムアクセス RNTI (RA-RNTI)
000A-FFF2	003C-FFF2	C-RNTI, Semi-Persistent Scheduling C-RNTI, Temporary C-RNTI, TPC-PUCCH-RNTI と TPC-PUSCH-RNTI
FFF3-FFFC		予め保留する
FFFE		P-RNTI
FFFF		SI-RNTI

表 2 : UE がモニタリングする PDCCH candidates

タイプ	探索空間 $S_k^{(L)}$		PDCCH candidates 数 量 $M^{(L)}$
	アグリゲーション レベル L	大小 [CCEs]	
UE 専有	1	6	6
	2	12	6
	4	8	2
	8	16	2
共通	4	16	4
	8	16	2

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 1 】

そのうち、 $n_{\text{SRS}}^{\text{ss}}$ は 3bit のシグナリングで指示され、それぞれ 0、1、2、3、4、5、6、7 である。すなわち、同じ時間周波数リソース下で、セル内の UE は 8 個の利用可能なコードリソースがあり、eNB は最大で 8 個の UE を コンフィギュレーション して同じ時間周波数リソースにおいて同時に SRS を送信することができる。式 (1) は SRS シーケンスを時間領域において等間隔に 8 部分に分けられると見なされることができるが、SRS シーケンスの長さが 12 の倍数であるので、SRS シーケンスの最小長さは 24 となる。

LTE システムにおいて、SRS の周波数領域帯域幅はツリー構造で コンフィギュレーション される。各々の種類の SRS 帯域幅の コンフィギュレーション は (SRS bandwidth configuration) 1 つのツリー構造に対応し、最高層（又は第一層と称する）の SRS 帯域幅 (SRS-Bandwidth) はこの SRS 帯域幅 コンフィギュレーション の最大の SRS 帯域幅と対応し、SRS 帯域幅範囲とも呼ばれる。UE は基地局のシグナリング指示によって、計算して自身の SRS 帯域幅が得られた後、更に eNB で送信された上層シグナリング周波数領域位置 n_{RRC} によって、自身が SRS を送信する周波数領域初期位置を確定する。図 3 は従来技術による異なる n_{RRC} を割り当てる UE が SRS を送信する周波数領域初期位置の模式図である。図 3 に示すように、異なる n_{RRC} を割り当てた UE はセル SRS 帯域幅の異なるエリアで SRS を送信し、そのうち、UE1 は $n_{\text{RRC}}=0$ によって、SRS を送信する周波数の初期位置を確定し、UE2 は $n_{\text{RRC}}=3$ によって、SRS を送信する周波数の初期位置を確定し、UE3 は $n_{\text{RRC}}=4$ によって、SRS を送信する周波数の初期位置を確定し、及び UE4 は $n_{\text{RRC}}=6$ によって、SRS を送信する周波数の初期位置を確定する。

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

設計上の簡略化のため、それに可能な応用場合を考慮し、エクステンドキャリアはPDCC Hがないようにコンフィグレーションされる可能性が非常に高い。そうすると、エクステン
ドキャリアのシステム情報に対応するDCIは他のコンポーネントキャリアにおいて伝送さ
れる必要がある。なお、LTE-Aは常駐キャリアの概念を更に導入し、つまりUEが初期にア
クセスしたキャリアであり、アクセスが成功した後、ベアリングバランスを保証するよう
に高層シグナリングによって、UEに改めて常駐キャリアをコンフィグレーションできる。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0020

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0020】

従来のLTE-Aの研究には、アップリンク通信において、非プリコーディング（つまりア
ンテナ専有）のSRSを使用すべき、PUSCHのDMRSをプリコーディングすることが提出された
。基地局は非プリコーディングのSRSを受信することで、アップリンクの初期CSIを推定で
き、プリコーディングしたDMRSは基地局にアップリンク初期CSIを推定させることができ
なくなる。このとき、UEは複数のアンテナで非プリコーディングのSRSを送信すると、各
々のUEが需要するSRSリソースは全部増加し、システム内で同時に多重化するUE数量が低
下してしまう。また、LTEの既存した周期（periodic）にSRSを送信することを保留する以
外に、SRSリソースの利用率を改善し、リソーススケジューリングの柔軟性を高めるため
に、ダウンリンク制御情報又は高層シグナリングによって、UEが非周期（aperiodic）にS
RSを送信することをコンフィグレーションすることができる。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

従って、LTE-Aシステムにおいて、周期SRSと非周期SRSとがあり、より効率的にタイム
リーに非周期的にSRSを送信するとともに、シグナリングのオーバーヘッドの節約、UEの
ブラインド検出の複雑程度の減少を実現するように、どのように合理的にダウンリンク制
御情報又は高層シグナリングがSRSリソースをコンフィグレーションすることを設計する
かは未解決の課題である。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

前記技術問題を解決するために、本発明はサウンディング参照信号のシグナリングコン
フィグレーションシステム及び方法を提供しており、UEが非周期的にSRSを送信するこ
とを実現できない従来技術の問題を解決することができる。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0023

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0023】

本発明はサウンディング参照信号のシグナリングコンフィグレーション方法を提供し、基地局がユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号を送信するように通知し、且つユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号（SRS）を送信するコンフィグレーション情報を送り出すことを含む。

【誤訳訂正10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

ユーザー端末に、非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィグレーション情報を送り出すステップは、前記基地局は物理ダウンリンク共有チャンネル（PDSCH）によって1つ又は複数のユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィグレーション情報を送り出すことを含む。

【誤訳訂正11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0025

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0025】

前記PDSCHのスケジューリング情報はダウンリンク制御情報フォーマット（format）1A又はformat 1Cにベアリングされ、且つサウンディング参照信号-無線ネットワーク臨時識別子値（SRS-RNTI）を用い、ダウンリンク制御情報フォーマット（format）の巡回冗長検査（CRC）をスクランブリングし、

そのうち、制御情報formatはformat 1A又はformat 1Cであり、

前記SRS-RNTIは共有する無線ネットワーク臨時識別子値（RNTI）又はユーザーに専有するRNTIである。

【誤訳訂正12】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0027

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0027】

ユーザーに専有するRNTIを用いて前記ダウンリンク制御情報フォーマットのCRCをスクランブリングする時、前記PDSCHのデータブロックはこのユーザーに専有するRNTIが対応するユーザー端末のデータパッケージを含み、前記データパッケージは少なくとも前記ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィグレーション情報を含み、

共有するRNTIを用いて前記ダウンリンク制御情報フォーマットのCRCをスクランブリングする時、前記PDSCHのデータブロックは1つ又は複数のユーザー端末のデータパッケージを含み、各々のユーザー端末のデータパッケージは少なくともこのユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィグレーション情報とこのユーザー端末に専有するRNTI情報を含む。

【誤訳訂正13】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

前記方法は

共有するRNTIを用いて前記ダウンリンク制御情報フォーマットのCRCをスクランブリングする時、ユーザー端末は対応する探索空間において共有するRNTIを用いてスクランブリングするダウンリンク制御情報フォーマットをブラインド検出し、ダウンリンク制御情報フォーマットを検出すると、そのベアリングしたスケジューリング情報によって、対応する位置でPDSCHを獲得し、前記PDSCHがベアリングした伝送ブロックにはこのユーザー端末に専有するRNTIを含むと、非周期的にサウンディング参照信号を送信する必要があると判断し、対応なコンフィグレーション情報によって、非周期的に送信し、前記PDSCHがベアリングした伝送ブロックにはこのユーザー端末に専有するRNTIを含まないと、引き続き次のサブフレームのデーターをブラインド検出し、

ユーザーに専有するRNTIを用いて前記ダウンリンク制御情報フォーマットのCRCをスクランブリングする時、ユーザー端末は対応する探索空間において、ユーザーに専有するRNTIを用いてスクランブリングするダウンリンク制御情報フォーマットをブラインド検出し、ユーザー端末は対応する探索空間において、ユーザーに専有するRNTIを用いてスクランブリングするダウンリンク制御情報フォーマットをブラインド検出すると、非周期的にサウンディング参照信号を送信する必要があると判断し、対応なコンフィグレーション情報によって、非周期的に送信し、ユーザー端末は対応する探索空間において、ユーザーに専有するRNTIを用いてスクランブリングするダウンリンク制御情報フォーマットをブラインド検出していないと、引き続き次のサブフレームのデーターをブラインド検出することを更に含まれる。

【誤訳訂正14】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

前記PDSCHがキャリアする非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィグレーション情報は、循環シフト情報、周波数領域位置、アップリンクコンポーネントキャリアインデックス、帯域幅、周波数コム位置、サウンディング参照信号を送信するモード指示及び送信回数的一种又は多種を含む。

【誤訳訂正15】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

前記コンフィグレーション情報にはアップリンクコンポーネントキャリアインデックスを含まない時、前記ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信するアップリンクコンポーネントキャリアは、コンフィグレーション情報をベアリングするPDSCHが所在するダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリア、或は高層シグナリングや他のダウンリンク制御情報フォーマットが指示するアップリンクコンポーネントキャリアであり、

前記コンフィグレーション情報には複数のアップリンクコンポーネントキャリアインデックスを含む時、前記ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信するアップリンクコンポーネントキャリアは、コンフィグレーション情報をベアリングするPDSCHが所在するダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリア、或は複数のアップリンクコンポーネントキャリアインデックスの対応する複数

のアップリンクコンポーネントキャリアであり、つまり複数のアップリンクコンポーネントキャリアにおいて、非周期的にサウンディング参照信号を送信する。

【誤訳訂正 1 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 1】

ユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィグレーション情報を送り出すステップは、

前記基地局は、ダウンリンク制御情報によって、ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報をキャリアし、及び高層シグナリングによって、ユーザー端末にN個の非周期的にサウンディング参照信号を送信するためのリソース又は方式をコンフィグレーションし、そのうち、Nは1～20中の整数であることを含む。

【誤訳訂正 1 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 2】

前記N個のリソース又は方式中の各々のリソース又は方式、

循環シフト情報、周波数領域位置、ユーザーに専有する帯域幅、周波数コム_{の位置}、SR S帯域幅コンフィグレーション情報、SRS送信サブフレーム、周期コンフィグレーション情報及びサウンディング参照信号を送信するモード指示中の一種又は多種を含む。

【誤訳訂正 1 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 5】

前記非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がユーザーに専有するダウンリンク制御情報フォーマット(DCI Format)フィールドにベアリングされ、或は非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用されるDCI Formatフィールドにベアリングされる。

【誤訳訂正 1 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 6】

前記方法は、

1つのサブフレーム中のユーザーに専有するDCI Format及び非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatの中には同一ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がベアリングされる時、前記ユーザー端末は前記ユーザーに専有するDCI Formatにベアリングされた非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を解析することを含む。

【誤訳訂正 2 0】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

前記ユーザーに専有するDCI Formatはユーザーに専有するアップリンクスケジューリングに用いられるDCI Format及びユーザーに専有するダウンリンク割り当てに用いられるDCI Formatを含み、

1つのサブフレームにおけるユーザーに専有するアップリンクスケジューリングに用いられるDCI Formatとユーザーに専有するダウンリンク割り当てに用いられるDCI Formatの中には同一ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がベアリングされる時、前記ユーザー端末はその中の何れかのベアリングされた前記ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を解析する。

【誤訳訂正21】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

1つのサブフレームにおけるユーザーに専有するDCI Format及び非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatの中には同一ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がベアリングされる時、前記ユーザーに専有するDCI Format中にベアリングされた指示情報と非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Format中にベアリングされた指示情報は同じ数値をコンフィギュレーションする。

【誤訳訂正22】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0039

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0039】

前記非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatは共有するRNTIや専有するRNTIを用いて前記ダウンリンク制御情報フォーマットの巡回冗長検査CRCをスクランブリングする。

【誤訳訂正23】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

前記非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がユーザーに専有するDCI Formatフィールド中にベアリングされる時、このユーザーに専有するRNTIを用いてDCI Formatの巡回冗長検査CRCをスクランブリングし、

前記非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報が非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatフィールド中にベアリングされる時、このDCI Formatには複数のユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を含むと、共有するRNTIを用いてDCI Formatの巡回冗長検査CRCをスクランブリングし、このDCI Formatには1つだけのユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を含むと、共有するRNTI或専有するRNTIを用いてDCI Formatの巡回冗長検査CRCをスクランブリングする。

【誤訳訂正24】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 1 】

非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatを用い、複数のユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報をベアリングする時、前記複数の端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報の配列順番又は開始位置は高層シグナリングによってコンフィギュレーションされ、且つ各ユーザー端末に送り出される。

【誤訳訂正 2 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 4 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 3 】

前記アップリンクコンポーネントキャリアは前記指示情報をベアリングするDCI formatがスケジューリングするPDSCHが所在するダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリア、或は前記指示情報をベアリングするDCI formatがスケジューリングするPUSCHの所在するアップリンクコンポーネントキャリア、或は前記指示情報をベアリングするダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリアである。

【誤訳訂正 2 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 4 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 4 】

ユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出すステップは、

基地局がダウンリンク制御情報を送り出す時、ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信するかどうか及び非周期的にサウンディング参照信号を送信するモードを指示し、且つ高層シグナリングによって非周期的にサウンディング参照信号を送信することに必要な他のパラメーターをコンフィギュレーションし且つ送り出す。

【誤訳訂正 2 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 4 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 8 】

本発明はサウンディング参照信号のシグナリングコンフィギュレーションに用いられる基地局を提供し、

ユーザー端末に非周期サウンディング参照信号を送信するように通知し、及びユーザー端末に前記サウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出し、対応するアップリンクコンポーネントキャリアにおいて前記ユーザー端末に非周期的に参照信号をサウンディングさせるように設置される。

【誤訳訂正 2 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 4 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 9 】

前記基地局は、

物理ダウンリンク共有チャンネル（PDSCH）によって、1つ又は複数のユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出すようにユーザー端末に前記サウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出すように設置される。

【誤訳訂正 29】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0050

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0050】

前記基地局は、ダウンリンク制御情報によって、ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報をキャリアし、及び高層シグナリングによって、ユーザー端末に、N個の非周期的にサウンディング参照信号を送信するためのリソース又は方式をコンフィギュレーションするようにユーザー端末に前記サウンディング参照信号のコンフィギュレーション情報を送り出すように設置され、或は

前記基地局は、ダウンリンク制御情報を送り出す時、ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信するかどうか及び非周期的にサウンディング参照信号を送信するモードを指示し、且つ高層シグナリングによって、非周期的にサウンディング参照信号を送信することに必要な他のパラメーターをコンフィギュレーションするようにユーザー端末に前記サウンディング参照信号のコンフィギュレーション情報を送り出すように設置される。

【誤訳訂正 30】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0051

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0051】

本発明はサウンディング参照信号のシグナリングコンフィギュレーションに用いられるユーザー端末を提供し、

基地局が送信した非周期的にサウンディング参照信号を送信する通知を受信し、基地局からユーザー端末に送り出す非周期サウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を受信し、及び

対応するアップリンクコンポーネントキャリアにおいて非周期的に参照信号をサウンディングするように設置される。

【誤訳訂正 31】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

本発明はサウンディング参照信号のシグナリングコンフィギュレーションシステムを提供し、基地局及びユーザー端末を含み、

基地局はユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号を送信するように通知し、及びユーザー端末に前記サウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出すように設置され、

ユーザー端末は対応するアップリンクコンポーネントキャリアにおいて非周期的に参照信号をサウンディングするように設置される。

【誤訳訂正 32】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 5 5

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 5 】

基地局は以下の何れかによって、ユーザー端末にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出すことができるが、それに限らない：

(A) 基地局はPDSCHによって、1つ又は複数のユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出す。

【誤訳訂正 3 3】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 5 6

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 6 】

PDSCHのスケジューリング情報はダウンリンク制御情報フォーマットformat 1A又はformat 1Cによりベアリングされ、且つ参考信号-無線ネットワーク臨時識別子値（SRS-RNTI）を用い、ダウンリンク制御情報フォーマットformat 1A又はformat 1Cの巡回冗長検査（CRC）をスクランブリングし、

そのうち、SRS-RNTIは表1に予めに保留しておいたRNTIを用いられ、ダウンリンク制御情報フォーマット（format）の巡回冗長検査（CRC）をスクランブリングすることに用いられる。

【誤訳訂正 3 4】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 5 9

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 9 】

ユーザーに専有するRNTIを用いて前記ダウンリンク制御情報フォーマットのCRCをスクランブリングする時、前記PDSCHのデータブロックはこのユーザーに専有するRNTIが対応するユーザー端末のデータパッケージを含み、前記データパッケージは少なくとも前記ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を含み、

共有するRNTIを用いて前記ダウンリンク制御情報フォーマットのCRCをスクランブリングする時、前記PDSCHのデータブロックは1つ又は複数のユーザー端末のデータパッケージを含み、各々のユーザー端末のデータパッケージは少なくともこのユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報とこのユーザー端末に専有するRNTI情報を含む。

【誤訳訂正 3 5】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 6 0

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 6 0 】

共有するRNTIを用いて前記ダウンリンク制御情報フォーマットのCRCをスクランブリングする時、ユーザー端末は対応する探索空間において共有するRNTIを用いてスクランブリングするダウンリンク制御情報フォーマットをブラインド検出し、ダウンリンク制御情報フォーマットを検出すると、そのベアリングしたスケジューリング情報によって、対応する位置でPDSCHを獲得し、前記PDSCHがベアリングした伝送ブロックにはこのユーザー端末に専有するRNTIを含むと、非周期的にサウンディング参照信号を送信する必要があると判断し、相応なコンフィギュレーション情報によって、非周期的に送信し、でないと、引き

続き次のサブフレームのデーターをブラインド検出し、

ユーザーに専有するRNTIを用いて前記ダウンリンク制御情報フォーマットのCRCをスクランプリングする時、ユーザー端末は対応する探索空間において、ユーザーに専有するRNTIを用いてスクランプリングするダウンリンク制御情報フォーマットをブラインド検出すると、非周期的にサウンディング参照信号を送信する必要があると判断し、相応なコンフィギュレーション情報によって、非周期的に送信し、でないと、引き続き次のサブフレームのデーターをブラインド検出する。

【誤訳訂正 3 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 1】

前記PDSCHがキャリアする非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報は循環シフト情報、周波数領域位置、アップリンクコンポーネントキャリアインデックス、帯域幅、周波数コム位置、サウンディング参照信号を送信するモード指示及び送信回数的一种又は多種を含む。

【誤訳訂正 3 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 2】

前記コンフィギュレーション情報にはアップリンクコンポーネントキャリア素を含まない時、前記ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信するアップリンクコンポーネントキャリアは、コンフィギュレーション情報をベアリングするPDSCHが所在するダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリア、或は高層シグナリングや他のダウンリンク制御情報フォーマットが指示するアップリンクコンポーネントキャリアであり、

前記コンフィギュレーション情報には複数のアップリンクコンポーネントキャリアインデックスを含む時、前記ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信するアップリンクコンポーネントキャリアは、コンフィギュレーション情報をベアリングするPDSCHが所在するダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリア、或は複数のアップリンクコンポーネントキャリアインデックスの対応する複数のアップリンクコンポーネントキャリアであり、つまり複数のアップリンクコンポーネントキャリアにおいて、非周期的にサウンディング参照信号を送信する。

【誤訳訂正 3 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 3】

(B) 前記基地局は、ダウンリンク制御情報によって、ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報をキャリアし、及び高層シグナリングによって、ユーザー端末にN個の非周期的にサウンディング参照信号を送信するためのリソース又は方式をコンフィギュレーションし、

そのうち、Nは1~20中の整数である。

【誤訳訂正 3 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0064】

前記N個のリソース又は方式中の各々のリソース又は方式は、循環シフト情報、周波数領域位置、ユーザーに専有する帯域幅、周波数コムの位置、SRS帯域幅コンフィギュレーション情報、SRS送信サブフレーム、周期コンフィギュレーション情報及びサウンディング参照信号を送信するモード指示中の一種又は多種を含む。

【誤訳訂正40】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0067

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0067】

非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がユーザーに専有するDCI Formatフィールドにベアリングされ、或は非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用されるDCI Formatフィールドにベアリングされる。

【誤訳訂正41】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

1つのサブフレーム中のユーザーに専有するDCI Format及び非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatの中には同一ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がベアリングされる時、前記ユーザー端末は前記ユーザーに専有するDCI Formatにベアリングされた非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を解析する。

【誤訳訂正42】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0069

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0069】

前記ユーザーに専有するDCI Formatはユーザーに専有するアップリンクスケジューリングに用いられるDCI Format及びユーザーに専有するダウンリンク割り当てに用いられるDCI Formatを含み、

1つのサブフレームにおけるユーザーに専有するアップリンクスケジューリングに用いられるDCI Formatとユーザーに専有するダウンリンクの割り当てに用いられるDCI Formatの中には同一ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がベアリングされる時、前記ユーザー端末はその中の何れかのベアリングされた前記ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を解析する。

【誤訳訂正43】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0070

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0070】

1つのサブフレームにおけるユーザーに専有するDCI Format及び非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatの中には同一ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がベアリングされる時、前記ユーザー

ーに専有するDCI Format中にベアリングされた指示情報と非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Format中にベアリングされた指示情報は同じ数値をコンフィギュレーションする。

【誤訳訂正 4 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 1】

前記非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatは共有するRNTIや専有するRNTIを用いて前記ダウンリンク制御情報フォーマットの巡回冗長検査CRCをスクランブリングする。

【誤訳訂正 4 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 2】

前記非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がユーザーに専有するDCI Formatフィールド中にベアリングされる時、このユーザーに専有するRNTIを用いてDCI Formatの巡回冗長検査CRCをスクランブリングし、

前記非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報が非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatフィールド中にベアリングされる時、このDCI Formatには複数のユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を含むと、ユーザーに共有するRNTIを用いてDCI Formatの巡回冗長検査CRCをスクランブリングし、このDCI Formatには1つだけのユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を含むと、ユーザーに共有するRNTI或専有するRNTIを用いてDCI Formatの巡回冗長検査CRCをスクランブリングする。

【誤訳訂正 4 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 3】

非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatを用い、複数のユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報をベアリングする時、前記複数の端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報の配列順番や開始位置は高層シグナリングによって、コンフィギュレーションされ、且つ各ユーザー端末に送り出される。

【誤訳訂正 4 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 5】

前記アップリンクコンポーネントキャリアは前記指示情報をベアリングするDCI formatがスケジューリングするPDSCHが所在するダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリア、或は前記指示情報をベアリングするDCI formatがスケジューリングするPUSCHの所在するアップリンクコンポーネントキャリア、或は前記指示情報をベアリングするダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンク

コンポーネントキャリアである。

【誤訳訂正４８】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００７６

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００７６】

(C) 基地局がダウンリンク制御情報を送り出す時、ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信する必要があるかどうか及び非周期的にサウンディング参照信号を送信するモードを指示し、且つ高層シグナリングによって非周期的にサウンディング参照信号を送信することに必要な他のパラメーターをコンフィギュレーションし且つ送り出す。

1 ビットで、ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信する必要があるかどうかを指示し、

1 つのアップリンクサブフレームにおいて非周期的にサウンディング参照信号を送信することに用いられるモードを T 個とし、 n ビットを用い、非周期的にサウンディング参照信号を送信するモードを指示し、

そのうち、 $n = \text{ceil}(\log_2 T)$ で、 ceil が切り上げを表し、 T と n が 1～6 中の整数である。

m ビットでユーザー端末が非周期的に SRS を送信する必要があるかどうか、及び非周期的に SRS を送信するモードを指示し、

1 つのアップリンクサブフレームにおいて非周期的にサウンディング参照信号を送信することに用いられるモードを T 個とし、

そのうち、 $m = \text{ceil}(\log_2 (T+1))$ であり、 m が 1～6 中の整数である。

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0079

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0079】

本発明はサウンディング参照信号のシグナリングコンフィギュレーションに用いられる基地局を提供し、ユーザー端末に非周期サウンディング参照信号を送信するように通知し、及びユーザー端末に前記サウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出し、

対応するアップリンクコンポーネントキャリアにおいて前記ユーザー端末に非周期的に参照信号をサウンディングさせるように設置される。

【誤訳訂正50】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0080

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0080】

前記基地局は

物理ダウンリンク共有チャンネル(PDSCH)によって、1つ又は複数のユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出すようにユーザー端末に前記サウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出すように設置される。

【誤訳訂正51】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0081

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0081】

前記基地局は、ダウンリンク制御情報によって、ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報をキャリアし、及び高層シグナリングによって、ユーザー端末に、N個の非周期的にサウンディング参照信号を送信するためのリソース又は方式をコンフィギュレーションするように、ユーザー端末に前記サウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出すように設置される。

【誤訳訂正52】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0082

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0082】

前記基地局は、ダウンリンク制御情報を送り出す時、ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信するかどうか及び非周期的にサウンディング参照信号を送信するモードを指示し、且つ高層シグナリングによって、非周期的にサウンディング参照信号を送信することに必要な他のパラメーターをコンフィギュレーションし、且つ送り出すようにユーザー端末に前記サウンディング参照信号のコンフィギュレーション情報を送り出すように設置される。

【誤訳訂正53】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0083

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 8 3 】

本発明はサウンディング参照信号のシグナリングコンフィギュレーションに用いられるユーザー端末を提供し、

基地局が送信した非周期的にサウンディング参照信号を送信する通知を受信し、

基地局からユーザー端末に送り出す非周期サウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を受信し、及び対応するアップリンクコンポーネントキャリアにおいて非周期的に参照信号をサウンディングするように設置される。

【 誤 訳 訂 正 5 4 】

【 訂 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 訂 正 対 象 項 目 名 】 0 0 8 4

【 訂 正 方 法 】 変 更

【 訂 正 の 内 容 】

【 0 0 8 4 】

本発明はサウンディング参照信号のシグナリングコンフィギュレーション方法を提供し、基地局はユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号を送信するように通知し、且つユーザー端末に、前記サウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出す。

【 誤 訳 訂 正 5 5 】

【 訂 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 訂 正 対 象 項 目 名 】 0 0 8 7

【 訂 正 方 法 】 変 更

【 訂 正 の 内 容 】

【 0 0 8 7 】

ステップ101：基地局はPDSCHによって、1つ又は複数のユーザー端末に非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を送り出し、具体的には、PDSCHのスケジューリング情報はダウンリンク制御情報フォーマットformat 1A又はformat 1Cにベアリングされ、且つSRS-RNTIを用いてダウンリンク制御情報フォーマットformat 1A又はformat 1Cの巡回冗長検査CRCをスクランプリングする。前記SRS-RNTIは共有するRNTI又はユーザーに専有するRNTIである。

【 誤 訳 訂 正 5 6 】

【 訂 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 訂 正 対 象 項 目 名 】 0 0 8 8

【 訂 正 方 法 】 変 更

【 訂 正 の 内 容 】

【 0 0 8 8 】

共有するRNTIを用いてCRCをスクランプリングする時、非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報をキャリアするPDSCHのデータブロックは1つ又は複数のユーザー端末のデータパッケージを含み、各々ユーザー端末のデータパッケージは少なくともこのユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報とこのユーザー端末に専有するRNTI情報を含み、この時、PDSCHをベアリングしたformat 1A又はformat 1Cは共有探索空間において送信され、

ユーザーに専有するRNTIを用いてCRCをスクランプリングする時、非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報をキャリアするPDSCHのデータブロックはこのユーザーに専有するRNTIの対応するユーザー端末のデータパッケージを含み、このデータパッケージは少なくともこのユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報を含む。この時、PDSCHをベアリングしたformat 1A又はformat 1Cは共有或専有探索空間において送信される。

【 誤 訳 訂 正 5 7 】

【 訂 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 訂 正 対 象 項 目 名 】 0 0 8 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0089】

PDSCHにキャリアする非周期的にサウンディング参照信号を送信するコンフィギュレーション情報は循環シフト情報、周波数領域位置、帯域幅、アップリンクコンポーネントキャリアインデックス、周波数コムの位置、サウンディング参照信号を送信するモード指示及び送信回数中の一種又は多種を含む。

【誤訳訂正58】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0091

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0091】

ステップ102: ユーザー端末は探索空間において、format 1A又はformat 1Cをブラインド検出し、且つベアリングしたスケジューリング情報によって、非周期的にSRSを送信する必要があるかどうかを判断し、必要がある場合、ステップ103を実行し、でないと、ステップ104を実行し、

具体的には、共有するRNTIを用いてCRCをスクランプリングする時、ユーザー端末は対応する探索空間において、共有するRNTIを用いてスクランプリングするformat 1A又はformat 1Cをブラインド検出し、format 1A又はformat 1Cを検出した後、ベアリングしたPDSCHスケジューリング情報によって、相応する位置でPDSCHを獲得し、PDSCHがベアリングした伝送ブロックにおいて、このユーザー端末に専有するRNTI情報を含むかどうかを探し、このユーザーに設備専有するRNTIを含むと、非周期的にサウンディング参照信号を送信する必要があると判断する。

【誤訳訂正59】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0093

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0093】

コンフィギュレーション情報には1つのアップリンクコンポーネントキャリアインデックスを含む時、ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信するアップリンクコンポーネントキャリアはこのアップリンクコンポーネントキャリアインデックスが対応するアップリンクコンポーネントキャリアであり、コンフィギュレーション情報にはアップリンクコンポーネントキャリアインデックスを含まない時、ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信するアップリンクコンポーネントキャリアはコンフィギュレーション情報をベアリングしたPDSCHが所在するダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリア、或は高層シグナリングや他のダウンリンク制御情報フォーマットが指示するアップリンクコンポーネントキャリアであり、コンフィギュレーション情報には複数のアップリンクコンポーネントキャリアインデックスを含む時、ユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信するアップリンクコンポーネントキャリアは、コンフィギュレーション情報をベアリングするPDSCHが所在するダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリア、或は複数のアップリンクコンポーネントキャリアインデックスの対応する複数のアップリンクコンポーネントキャリアであり、つまり、複数のアップリンクコンポーネントキャリアにおいて、非周期的にサウンディング参照信号を送信する。

【誤訳訂正60】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0094

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0094】

ステップ103：ユーザー端末は相応するコンフィギュレーション情報によって、非周期的にSRSを送信し、

ユーザー端末はコンフィギュレーション情報の指示によって、第一番目のタイムスロットのDMRS及び/又は第二番目のタイムスロットのDMRSをプリコーディングしないモードを用いてSRSを送信することを確定する時、ユーザー端末は相応するタイムスロットのDMRSをプリコーディングしなく（この時、この符号位置ですでにSRS送信を行ったことに相当する）、ユーザー端末はコンフィギュレーション情報の指示によって、第一番目のタイムスロットのDMRSと第二番目のタイムスロットのDMRSにおいて同時にSRSを送信するモードを用いることを確定する時、ユーザー端末は送信するSRS及びアップリンク復調参照信号に対して、直交カバーコード（Orthogonal Cover Code）を用い、符号分割多重を行い、この直交カバーコードは[+1、+1]或[+1、-1]である。

【誤訳訂正61】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0097

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0097】

ステップ201：基地局はダウンリンク制御情報によって、ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報をキャリアし、及び高層シグナリングによって、ユーザー端末にN個の非周期的にサウンディング参照信号を送信するためのリソース又は方式をコンフィギュレーションし、

具体的には、各々の端末に対して、ユーザー端末は1つのアップリンクコンポーネントキャリアを占有する時、ダウンリンク制御情報の中で、kビットで非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を表し、この指示情報はこの端末が相応なアップリンクコンポーネントキャリアで非周期的にサウンディング参照信号を送信する必要があるかどうか、及びN個のリソース（或は方式）中のどちらを使用して送信するかを指示し、

ユーザー端末が複数（例えばL個）のアップリンクコンポーネントキャリアを占有する時、以下方式中の何れかを用い、各アップリンクコンポーネントキャリアにおいて非周期的にSRSを送信するリソース（或は方式）を指示することができるが、それに限らない：

（a）kビットで非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を表し、各々のアップリンクコンポーネントキャリアに対して、いずれもこのkビットの指示によって非周期的にSRSを送信し、つまりその指示によって、非周期的にサウンディング参照信号を送信する必要があるかどうか、及び前記N個のリソース（或は方式）中のどちらを使用して送信するかを指示する。（b）各々のアップリンクコンポーネントキャリアに対して、異なる指示情報を用いてそれぞれ指示し、各々の指示情報はいずれもkビットシグナリングで表し、つまり、L個のkビットでこのユーザー端末が非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を指示し、例えば、第一番目のkビットは本ユーザー端末が第一番目のアップリンクコンポーネントキャリアにおいて非周期的にSRSを送信する必要があるかどうか及びN個のリソース（或は方式）中のどちらを使用して送信するかを指示し、第二番目のkビットは本ユーザー端末が第二番目のアップリンクコンポーネントキャリアにおいて非周期的にSRSを送信する必要があるかどうか及びN個のリソース（或は方式）中のどちらを使用して送信するかを指示し、そのように類推する。

【誤訳訂正62】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0099

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0099】

前記非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報はユーザーに専有するDCI Formatフィールドにベアリングされ、或は非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatフィールド中にベアリングされる。

【誤訳訂正 6 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 0 0】

非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報はユーザーに専有するDCI Formatフィールド中にベアリングされる時、このユーザーに専有するRNTIを用いてDCI FormatのCRCをスクランブリングし、

非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報は非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatフィールドにベアリングされる時、このDCI Formatには複数のユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を含むと、ユーザーに共有するRNTIを用いてDCI FormatのCRCをスクランブリングし、このDCI Formatには1つだけのユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を含むと、ユーザーに共有するRNTIや専有するRNTIを用いてDCI Formatの巡回冗長検査CRCをスクランブリングする。

【誤訳訂正 6 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 0 1】

非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatを用い、複数の端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報をベアリングする時、この複数の端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報の配列順番や開始位置は高層シグナリングによって、コンフィギュレーションされ、且つ送り出されることができる。

【誤訳訂正 6 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 0 2】

基地局は高層シグナリングを送り出し、非周期的にサウンディング参照信号を送信するN個のリソース（或は方式）を指示し、各々のリソース（或は方式）は循環シフト情報、周波数領域位置、ユーザーに専有する帯域幅、周波数コムの位置、SRS帯域幅コンフィギュレーション情報、SRS送信サブフレームや周期コンフィギュレーション情報及びサウンディング参照信号を送信するモード指示等の一種又は多種を含む。

【誤訳訂正 6 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 0 4】

ステップ202：ユーザー端末は探索空間においてDCI Formatをブラインド検出し、且つベアリングした非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報によって、非周期的にSRSを送信する必要があるかどうかを判断し、必要があると、ステップ203を実行し、

でないと、ステップ204を実行し、

具体的には、ユーザーに専有するDCI Formatフィールドを用い、非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報をベアリングする時、ユーザー端末は対応な探索空間において、専有するRNTIを用いてスクランプリングするDCI Formatをブラインド検出し、且つその中にベアリングされた指示情報判によって、非周期的にSRSを送信する必要があるかどうか及びN個のリソース（或は方式）中のどちらを使用して送信するかを判断する。

【誤訳訂正 6 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 0 5】

非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatを用い、非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報をベアリングする時、ユーザー端末は対応する探索空間において、共有するRNTIを用いてスクランプリングするDCI Formatをブラインド検出し、且つ高層シグナリングによって、DCI Format中の対応な位置の指示情報を探し、且つこの指示情報によって、非周期的にSRSを送信する必要があるかどうか及びN個のリソース（或は方式）中のどちらを使用して送信するかを判断する。

【誤訳訂正 6 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 0 6】

ステップ203：ユーザー端末は指示情報が指示するリソース（或は方式）に従って非周期的にSRSを送信し、

1つのサブフレーム中のユーザーに専有するDCI Format及び非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Formatの中には同一ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がベアリングされる時、ユーザーに専有するDCI Format中にベアリングされた指示情報と非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Format中にベアリングされた指示情報は同じ数値をコンフィギュレーションし、ユーザー端末はユーザーに専有するDCI Format中にベアリングされた非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を解析し、ユーザーに専有するDCI Format中にベアリングされた非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を正確に解析できないと、非周期サウンディング参照信号情報をベアリングすることに専用するDCI Format中にベアリングされた非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報を解析する。

【誤訳訂正 6 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 0 7】

ユーザーに専有するDCI Formatはユーザーに専有するアップリンクスケジューリングに用いられるDCI Format及びユーザーに専有するダウンリンク割り当てに用いられるDCI Formatを含み、

1つのサブフレーム中のユーザーに専有するアップリンクスケジューリングに用いられるDCI Formatとユーザーに専有するダウンリンク割り当てに用いられるDCI Formatには同一ユーザー端末の非周期的にサウンディング参照信号を送信する指示情報がベアリングされる時、ユーザー端末はそのうちの任一の前記ユーザー端末をベアリングした非周期的に

サウンディング参照信号を送信する指示情報を解析する。

【誤訳訂正 7 0】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 1 0】

方式2：アップリンクコンポーネントキャリアは前記指示情報をベアリングしたDCI formatがスケジューリングするPDSCHが所在するダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリア、或は前記指示情報をベアリングしたDCI formatがスケジューリングするPUSCHが所在するアップリンクコンポーネントキャリア、或は前記指示情報をベアリングしたダウンリンクコンポーネントキャリアの対応するアップリンクコンポーネントキャリアである。

【誤訳訂正 7 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 1 1】

方式3：ダウンリンクコンポーネントキャリアが対応するアップリンクコンポーネントキャリアはシステム情報ブロックによってコンフィギュレーションされ、例えばSIB 2、或は高層シグナリングによってコンフィギュレーションされる。

【誤訳訂正 7 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 1 5】

ステップ301：基地局がダウンリンク制御情報を送り出す時、ユーザー端末が非周期的にSRSを送信するかどうか及び非周期的にSRSを送信するモードを指示し、且つ高層シグナリングによって、非周期的にSRSを送信することに必要な他のパラメーターをコンフィギュレーションし且つ送り出す。

【誤訳訂正 7 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 1 9】

基地局は高層シグナリングによって、循環シフト情報、周波数領域位置、アップリンクコンポーネントキャリアインデックス、ユーザーに専有する帯域幅、周波数コムの位置、SRS帯域幅コンフィギュレーション情報、SRS送信サブフレーム及び周期コンフィギュレーション情報等の一種又は多種を含む非周期的にSRSを送信する他のパラメーターをコンフィギュレーションし且つ送り出す。